

すみたい東京

2040年+の東京都心市街地像の提案

伊藤 滋 編著

■A5判：224頁 ■発売日：2017年9月20日 ■定価：3,000円(税別)

70年以上にわたり東京の街を見続け提案し続けてきた
都市計画家 渾身の『東京居住空間論』

日本が敗戦を迎えた昭和20年、私は中学2年生だった。……
その私が当時、こんな姿になればよいと想像した以上に、
東京の街は素晴らしい姿に生まれ変わった。……
ところが、70年経ってもよくなるもの、
それは「東京の住宅」である。——「はじめに」より

- 第1章 —— 東京の居住空間をもっと大きくしよう
- 第2章 —— 東京の居住空間の将来像
- 第3章 —— すみたい東京に向けた8つの提案
- 第4章 —— ゆとりの住宅地が東京のまちを育む



◆執筆者プロフィール

伊藤 滋 (いとう・しげる)

都市計画家、早稲田大学特命教授、東京大学名誉教授

1931年東京生まれ。東京大学農学部林学科、同大工学部建築学科卒業。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了。工学博士。東京大学工学部都市工学科教授、慶應義塾大学環境情報学部教授、日本都市計画家協会会長、建設省都市計画中央審議会会長、内閣官房都市再生戦略チーム座長などを歴任。



70年以上にわたり東京の街を見続け提案し続けてきた
都市計画家 渾身の『東京居住空間論』

日本が敗戦を迎えた昭和20年、私は中学2年生だった。
その私が当時、こんな姿になればよいと想像した以上に、
東京の街は素晴らしい姿に生まれ変わった。
ところが、70年経ってもよくなるもの、
それは「東京の住宅」である。——「はじめに」より

近代建築社

近代建築社